



四十二歳の厄払い

ご参拝にお越しの皆様、明けましておめでとう御座います。年末からの大雪も一段落し、太鼓が厳かに鳴り響く中、皆さんは願いを込めてお祈り

明けましておめでとう
ございます

平成二十七年
皇紀二千六百七十五年
初詣

越乃大社 鵜坂神社

奉賛会 会長
岡村 修行

発行者
鵜坂神社
山内 伸

編集者
蒲田 政彦



参拝者の願いが届きます様に、力を込めて…

昔は六十歳まで生きるのは

していました。六十歳の還暦をお迎えになった人たち、四十二歳の初老の厄払いの人たち、それぞれ神主からお祓いを受けていました。

長寿格言に「還暦六十歳まだまだ若い、これからあなたの余生です」ともあります。四十二歳の厄払いに、家族と共にお越しになっており、年明けから節分までの間に行うことが多いようです。破魔矢は、正月に弓の技を試す射礼に使われた弓矢に由来し、「はま(破魔)」は競技に用いられる的のことで、そこから転じて、一年の好運を射止める縁起物ということになり、初詣で授与するようになりました。



賑わう売店…良い年で有ります様に

大変なことで、生まれた年の干支(えと)に還る祝で、「生まれ直す」という意味から還暦と言ひ、赤ちゃんの赤いちやんちゃんこや帽子を贈って、お祝いしていました。

建国祭

皇紀二千六百七十五年

平成二十七年二月十一日「建国記念の日」に皇紀二千六百七十五年にあたる建国祭が行われました。

水野祭員による開式の辞の後、樞原神宮及び皇居に向かって遥拝し、国歌斉唱並びに「雲に聳ゆる高千穂の…」と紀元節祝い歌を斉唱しました。



国歌斉唱

拜殿では、禰宜による修祓及び献饌の祝詞をあげ、鈴払いをして戴き、全員で玉串奉奠を行いました。禰宜より挨拶の後、岡村奉賛会会長より「建国祭」についての話がありました。終りに、昨年から行われていた本殿修理が完了し、仮遷



岡村会長による建国祭の講話

座されている御神体を本殿に遷座する予定が発表されました。三月二十三日に合祀されている御神体を遷座し、四月二十九日の春季例大祭に鵜坂神社の御神体を本遷座する予定です。最後に万歳三唱で閉式となりました。



紀元節祝歌斉唱